

大堰校区未来づくりアンケート

実施概要

1. 目的

大堰校区の未来を考えるために、その魅力や特色を基に意見を収集。
10年後の大堰校区に残したいものや今後の課題について住民の声を収集・把握すること

2. 対象者

大堰校区に住んでいる方
大堰校区に過去住んでいた方
大堰校区にゆかりのある方

3. 回答方法

WEBフォームまたはアンケート用紙
(アンケートチラシを大堰校区へ全戸配布、町ホームページ・LINEで発信、アンケート用紙を大堰交流センターへ設置)

4. 回答期間

令和8年6月26日（金）～令和8年7月18日（土）

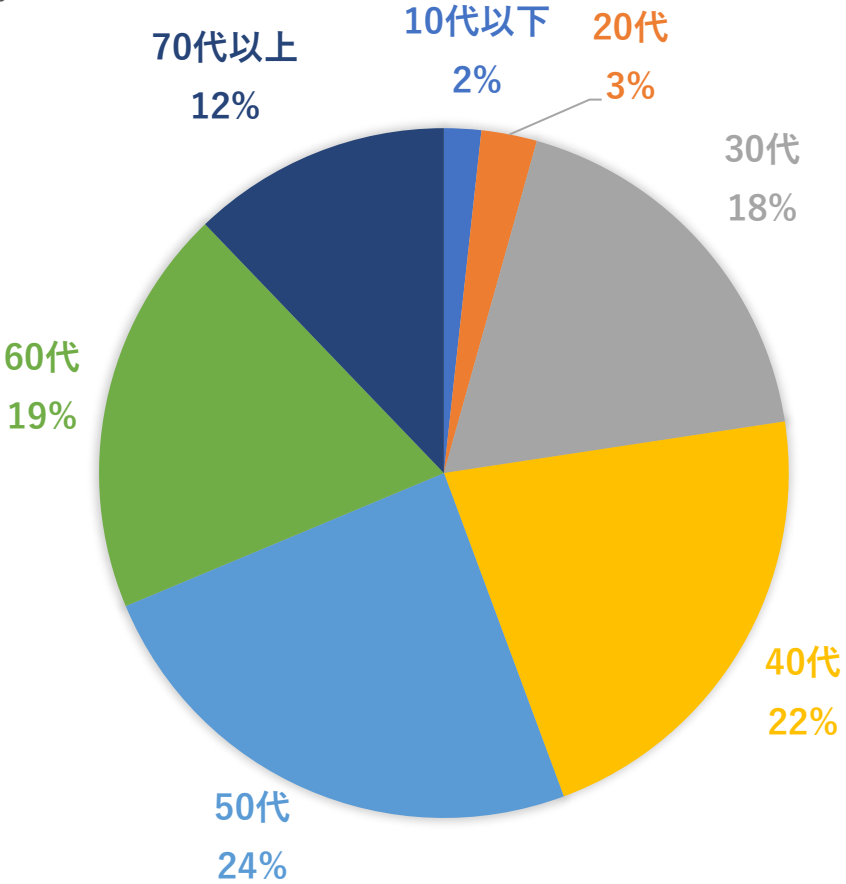
5. 回答数

115人

取りまとめにあたって

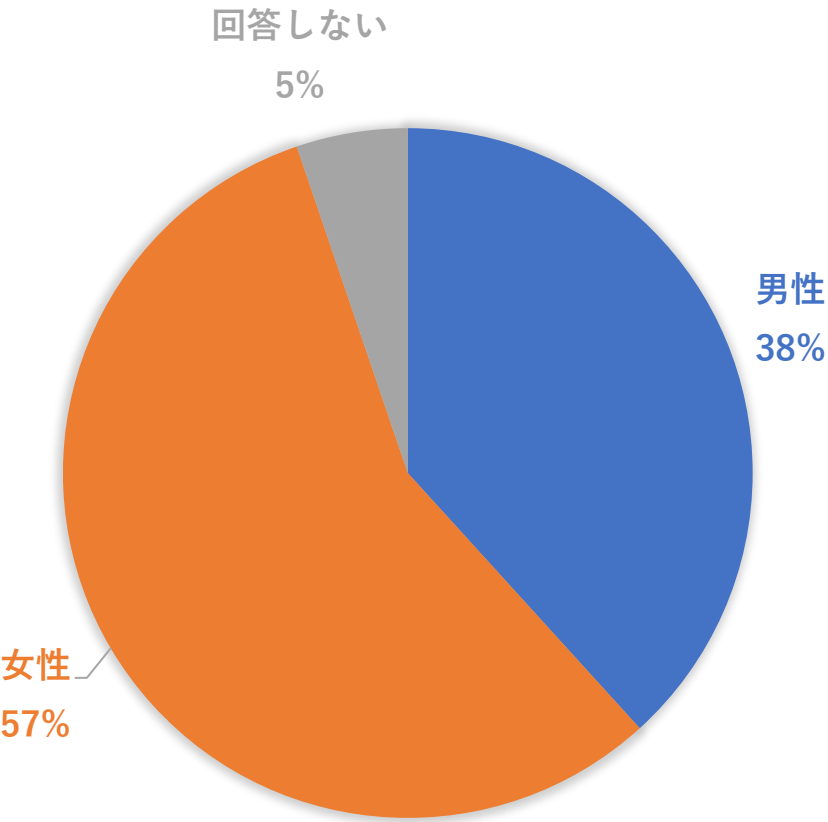
自由記述の掲載は一部、省略や要約をしている場合があります。

年代



10代以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
2	3	21	25	28	22	14

性別



男性	女性	回答しない
44	65	6

N=115

お住まい

大堰校区に住んだ
ことはないが、ゆ
かりがある
16%

その他
2%

大堰校区の出身
で、現在も大堰校
区に住んでいる
38%

大堰校区の出身で
はないが、現在大
堰校区に住んでい
る
31%

大堰校区の出身
で、現在は堰校
区外に住んでいる
13%

●出身・居住行政区の内訳

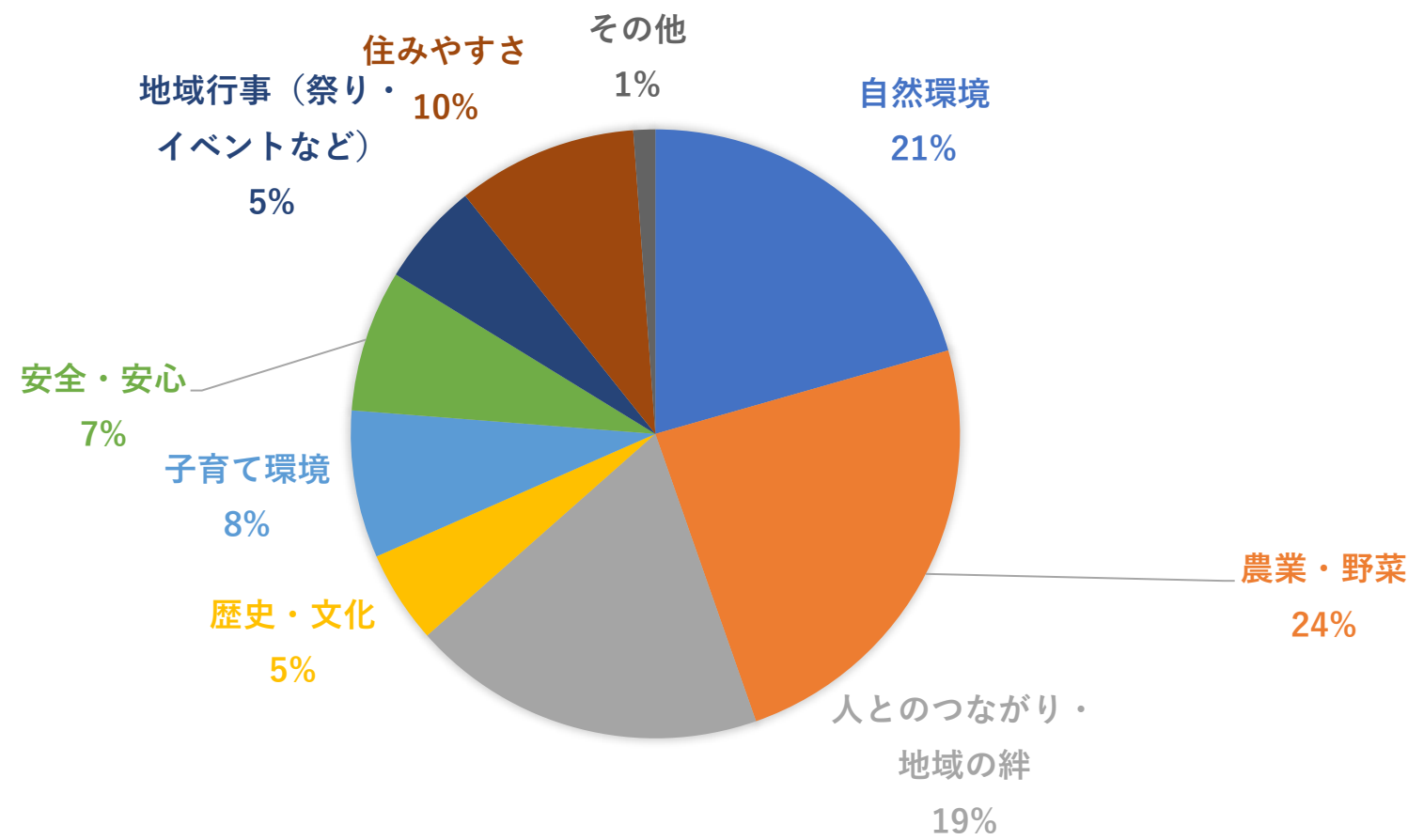
富多	35
菅野	19
高食	2
床島	3
鳥飼	13
西原	7
守部	7

大堰校区の出身で、 現在も大堰校区に 住んでいる	大堰校区の出身では ないが、現在大堰校 区に住んでいる	大堰校区の出身で、 現在は堰校区外 に住んでいる	大堰校区に住ん だことはないが、 ゆかりがある	その他
43	35	15	18	4

N=115

※その他：在住経験あり、町内の別校区に在住等

質問 1 : あなたが思う大堰校区の魅力は何ですか。（複数選択可）



自然環境	71
農業・野菜	83
人とのつながり・地域の絆	65
歴史・文化	17
子育て環境	27
安全・安心	26
地域行事（祭り・イベントなど）	19
住みやすさ	33
その他	4
回答数	345

※その他：「西鉄大堰駅があり、久留米や朝倉へのアクセスがよい。医療機関、小学校、中学校、役場、JAなどの公共施設が近くにある。」
「実家だから」

質問 1 で回答したその理由や具体的な内容があれば教えてください。

選択肢	理由や内容
自然環境	・耳納連山が広がって、空が広くて開放的な感じ、夕陽が綺麗で、大刀洗町の魅力のある景色って感じがして大好きです♪ ・筑後川が流れ、堤防からの風景が素晴らしい、大雨が降れば危険性はあるが、それを上回る風景がある、堤防道路は、散歩やジョギングコースに最適です。 ・自然がいっぱいで、窓から見る景色がとても好きです。 ・良い意味で何も無いところ、昔から変わらない風景が良い。
農業・野菜	・田畑が好きで野菜が豊富なところ ・新鮮な野菜がいつでも手に入る。 ・野菜の味が濃い。美味しい。 ・町を出て、野菜の新鮮さに気づいた。
人とのつながり・地域の絆	・お店がない、娯楽施設がない、転入者が少ない。ない物尽くしの集落だからこそ、人とのつながりが豊か。物々交換が日常化していたり、おせっかいがありがたいときがあったりとそれが暮らしやすさに繋がってる。 ・豊かな自然や田園風景、床島堰などの歴史的な魅力があるところです。また、大堰小学校がコミュニティ・スクールとして地域と連携しており、MEGURU STATIONでの活動を通じて住民同士の温かい交流が生まれているコミュニティの絆も誇りに思います。 ・結婚して住み始めて10年過ぎましたが、人とのつながり、親しみやすさを感じます ・いろいろな面で地域の活動は少なくなってきたが、まだまだ、人と人との関わりがあり、つながりはある一定保たれている。 ・アンビシャスや子ども会などで小さい頃から関わってきた人が多くて、いまだに優しくしてもらえる。 ・近所のおじちゃんおばちゃん同級生の親など、顔見知りで育ったので、世代間交流の違和感がない。
歴史・文化	・江戸時代に建設された歴史歴偉業である「床島堰(広義)・床島用水」が、改良を加えながら現在でも約3000町歩の水田灌漑が脈々と行われている。 ・床島堰や大堰神社等、今の農業に繋がる歴史がある。
子育て環境	・地域で子どもたちを育てている。 ・小学校が少人数だけど…その分人との繋がりが多いと思います。 ・保育園と小学校が隣接しているのがいい ・保育園が少人数で何かと目が行き届いていたり、農家さんに収穫体験等させてもらえる ・大堰保育園、小学校が、適度な人数で、とても良い環境で見てもらえるので、子育て世代にはありがたいです。 ・保育園も小学校も通いやすいし、地域の方と一緒に育ててる感はあるし、地域の方に守ってもらってる感もある。利便性もいいし、本当に水害さえ無ければいいのと思う。 ・給食がとってもおいしかったです！給食バイキングや給食室で暖かいものを食べるのが当たり前とおもっていましたが、当たり前ではないと、子育てをしていて思います。
安全・安心	・ずっと住んでいるので、当たり前になっているが、だれがどこの何さんかわかるので、怪しい人がいるとすぐにわかる。街中は絶対にあり得ない。防犯は保たれていると思う。
地域行事（祭り・イベントなど）	・毎年定期的にイベントが開催されていて町外からのお客さんが来場されてとても賑やかです。宣伝等がとても良いと思います。 ・お田植え踊りなどの地域の伝統が受け継がれていていいなと思う。
住みやすさ	・のどかで過ごしやすい。地域の人たちとのかかわりがあって楽しい。車を持っていれば生活しやすい ・30分前後である程度の場所に行ける所。 ・西鉄電車が近いので公共の交通手段を考えると便利

質問 2：大堰校区の課題や不安について

あなたが大堰校区で暮らす（暮らしていた）中で感じていることや、これからの大堰校区について課題に感じることを、不安や心配に思うことを自由にお聞かせください。（日々の生活、子育てや老後、行事やコミュニティの維持、地域の将来など、どのような内容でも構いません。）

カテゴリ	理由や内容
住まい、空き家	・空き家が増えていること ・守部は甘木線の駅も近いし、水害の被害も少ないので、移住の環境はよい場所なのに空き家がそのままなので、活性化できません。 ・空き家が、荒れて放置されている。 ・宅地が少ないので子育て世代が引っ越してこれない（戸建てを建てれない）だから子供が増えない ・大堰に住みたかったのですが、賃貸の物件が少なく、希望に合うところがなかったので断念しました。また、土地も少ないので自宅を建てたくても建てれないので、若い世代が入ってくるのはなかなか難しいと思います。 ・大堰校区に住みたいが土地がない、アパート等も少ないので困ってる。小学校も人数が少ないので、校区外からでも通えるようになってほしい ・大堰校区には賃貸が少ない。賃貸が増えると嬉しい。
高齢になったとき	・自分が高齢になったときに交通の便が悪く日常生活に支障がでそうだなと感じる。 ・人口が減って、行事が減ったり高齢者を見守る人が少なくなることなど、不安がある。 ・病院、診療所がない。交通機関がないので高齢者は困る。車が運転できなくなれば、困る。ひばりタクシーはあるが限定的。町に介護サービスも少ないので選択肢がかなり狭い。 ・今は 車に乗ってどこにでも行けてますが高齢になると行動制限され 不自由な生活になるのではというのが一番不安です。家の管理や将来独居になるかもしれないなど年齢が高くなるにつれ個人的な課題は多くなりそうです。大堰は地元ではないので 知り合いが少なく、積極的に色々な事に参加するのも苦手ですが 人との繋がりは大事にしていきたいです。 ・老後を過ごせない。買い物も医療機関も自由に行けない。自然環境があり静かで住環境としては魅力的だが不安な面が上回り、町に戻る予定はない。
高齢化、コミュニティの維持	・こどもが少なく、4校区の中で1番高齢化が進んでいる。そのため、地域で行う草刈り等を担う人材が不足している ・高齢化率の上昇。一人暮らし高齢者が増え、買い物や通院など、日常生活に支障がでてくるのではないかと。となり近所の助けあいが、この先どの程度機能するのだろうか。 ・地域の高齢化が進んでいるので、区の運営がどうなっていくのか心配です。 ・自分の行政区は高齢者の割合が高く、若い人がいない。将来、住民がいなくなるのでは・・・と不安。 ・高齢化とそれを受け止めきれない高齢者。いつまでも昔からしてるからと言って変革を受け入れないので地域として衰退している。 ・地域を引っ張る世代の高齢化 ・高齢者が多く若い人が少なくなり校区の祭り事出来なく昔の運動会など昔が懐かしいです。 ・他の3地域と比べて高齢化が高いかも？と思う。しかしながら、菊池の様にアパートが多い地区よりは住民どうしが顔を知ってることが多いかも。 ・若い人が減って、ボランティア等の参加、協力者が減少しつつある。 ・人口減は避けられないので、お互いに支えあう・顔の見える関係性が築ければ、老後の不安は少しは減ると思う ・次世代が少ないので、コミュニティの維持は課題。いろいろな世話役を重複して受けなければならなくなる。また、昔と違い60歳定年は考えにくく、世話役をやりながらの仕事は大変。また、消防団についてもなりての若手がおらず、特に機械員は操法訓練など勤め人には参加が困難で、いまでもなりてを選ぶのに苦慮している。正直消防団の在り方を考えてもらいたい。前のやり方がもう無理で負担でしかない。 ・隣組長や体育委員等が若い世代には負担になると思う
水害、大雨	・地域の拠点である憩いの園大堰交流センターが、洪水や内水氾濫の際には指定緊急避難場所として対応不可となっているため、水害発生時の地域の防災体制や避難経路に不安を感じています ・とにかく水害が心配。西原は浸水しても仕方がないと思われているのか。何か対策を考えて欲しい。 ・昔からの遊水地に居住している身としては、水害に対して他の居住区とかなりの温度差を感じる（理解してもらえない） ・集中豪雨での水害への発展。それ一択。氾濫さえしなければ、何も不安は無い ・災害が心配。大雨のときに川が氾濫したり、家や車が水没したり、一軒家を建てるとしてもそういったリスクが心配。 ・大堰地区は洪水被害のリスクがあるにもかかわらず、抜本的な対策が講じられていないように見受けられます。ため池等の管理状況を含め、行政として具体的な防災計画をどのように策定しているのか、住民に伝わる形での情報開示と早期対策を強く要望します。

質問 2：大堰校区の課題や不安について

あなたが大堰校区で暮らす（暮らしていた）中で感じていることや、これからの大堰校区について課題に感じる事、不安や心配に思うことを自由にお聞かせください。（日々の生活、子育てや老後、行事やコミュニティの維持、地域の将来など、どのような内容でも構いません。）

カテゴリ	理由や内容
安心・安全、公共交通	・交通の便（それでも三川地区よりは公共機関や役場には近い）。タクシーに乗り慣れるといい（自家用車の便利さを手離せないが、いずれ免許書返納を考えると早め早めに慣れておくことが良いと聞いた） ・久留米市内と大堰地区を結ぶバスが無い ・交通の便が悪い　西鉄大堰駅だけで、タクシーも無くなった。 ・西鉄電車が無くなったら困る ・大堰駅の踏切が、危険です。また、西鉄甘木線沿いの道路が、歩道が狭く歩行者が危険です。 ・富多は比較的駅に近いからいいですが、鳥飼や守部、西原など、公共機関から遠い場所は、不便だと感じますし、子どもが減っているのも事実です。富多だと、子どもが高校になった時も通わせやすいですし、自分たちも老後は買い物に行きやすいですが、駅から遠いと、やはり不便なので、将来永住したいとは思わないです。 ・大堰駅周辺の交通をよくしてもらいたい。
農業	・農業後継者不足や休耕の田畑が多い。安心して管理できる方への紹介等で緑の稲?収穫の金色を見れるよう、地域にいない相続人を探して第三者委託でも農業継続を行う。 ・安心して農業が出来るように、洪水が無い環境が必須です。ハウス（高収益野菜）に投資しても、１年で破壊されたでは、話しにならない。 ・大堰駅の踏切が、危険です。また、西鉄甘木線沿いの道路が、歩道が狭く歩行者が危険です。
少子化、子育て・教育環境	・特に三川辺りに若い人や子どもがどんどんいなくなっていること。 ・少子化が進む中、小学校が残っているか。 ・子供を遊ばせる施設が少ない。安全面、防犯面、熱中症対策がしてある室内の施設があれば嬉しい ・ワーキングマザーも増え、夏休みの学童保育利用も増えているが、開所時間が勤務時間よりも遅く、利用が難しい方も多い。8時から勤務する正社員の方のために、開所時間を早めたり、送迎のみボランティアの方をお願いできたりすると、子育て世代にはもっと住みやすくなると思う。 ・小中学生だけでなく高校生なども放課後に勉強とか集まれるような場所がない(時間的にも) ・高校が近くにないので、通える範囲で希望の高校に行けるか心配。
その他	・農業以外の産業等がないため若者の定住者が少ない ・回覧板のデジタル化 ・健康施設もほしい。ジムとかプールとか ・年配者が閉鎖的な考えで、年配者の方々が将来のことを考えてない。 ・集落の中で生活すると閉鎖的なイメージがある、 ・商業施設の少なさ、踏切の出にくさ、矢印信号の設置などが改良が必要。 ・良くも悪くも昔から変わらない、変わらないからこそ、人との繋がりなどの面で、新しく全くゆかりのない方が住むにはあまり容易ではないかもしれないと思う。 ・こちらにきたころは、違う土地から来た人みたいな感じをひしひしと感ずることもありましたが、今、大堰に住み始めたかたがそんなふうに感じていなければと。 ・ご結婚されていない方もいらっしゃるの、カップリングをパーティーの一度きりではなく、無料アプリを作り、町外の方からお嫁に来るメリットをしっかりと盛り込みマッチングしていくと、家族が増えていき、人口も増えるのかなと思います。それと、古い家を売却すると?で補助金が貰えるとかあると、そこに土地がうまれて、新たな世帯が入って、循環していくのかなと思います。 ・地域行事（体育祭）の運営体制の見直しについて 現在の体育祭運営は、役員およびその家族・親戚に過度な負担を強いる構造となっております。「人手が足りなければ家族を動員せよ」という風潮や、無理な人員確保による怪我のリスクは看過できません。ボランティア精神の範疇を大きく超えており、実質的に「罰ゲーム」のような過酷な運営環境です。 また、天候リスクへの対応も「雨なら中止」という場当たり的な判断に留まっており、現代のニーズや安全基準に照らしても開催意義が見出せません。持続可能な地域運営のため、行事そのものの見直し、または運営方法の抜本的な改革を求めます。

質問3：10年後の大堰校区について

10年後の大堰校区が、どのような地域であってほしいと思いますか。

大堰校区に残っていてほしいものや、大切にしたいこと、こんな地域であってほしいという思いがあれば自由にお聞かせください。

※思いつく範囲で構いません。文章ではなく単語でも構いません。

カテゴリ	理由や内容
人口	・会社等ができ→人口増になる。 ・少なくとも、人口の現状維持と田園風景を維持すること。 ・観光客でも良いので、人が来て欲しい。 ・人も増え、でも今のように緑が沢山の暖かい人達に囲まれた環境
子ども・若者	・このままでは大堰の未来は暗くなる一方だと思います。年配者中心でなく若者の未来があるようにして欲しい。若者の意見を聞いて欲しい。 ・大堰小学校は残ってほしい、若い世代が増えてほしい ・他の校区に負けないくらい子供の数が増えてほしい ・若者が住みやすいと思える町 ・アンビなど子供達が出来る活動が続けばと思います。地域の人が子供と気軽に話せるそんな活動が続いて欲しいと思います。 ・子どもたちの声が聞こえてくる校区であってほしい。 ・地域全体でこどもを育てる風土が残っているといいなと思う。 ・子ども達が増えて、にぎやかなところになって欲しい。 ・若い人が多くなり子供達の声が聞こえ 和気あいあいの大堰校区になってほしい。 ・10年後はおそらく、現在の半数以下の人口になっていると思う。先にも述べたが子供がまずいない。若い世代の夫婦すらいない。特に江戸から東。三川地区は謙虚にその様子が表れている。高齢者率は70%近くでは無いかと思われる。小学校が存続しているかも不安だ。また大雨時では、いつ筑後川が氾濫するか、常に不安との隣り合わせ。堤防が他の地域と比べ軟弱で、モグラの巣が異常に多い。 ・人口が今と変わらないくらいで、子どもが遊べる環境がもっとある。祭りなども今のまま受け継がれている。 ・若者の定住者や子供達が少しでも増えて行く様な地域産業の振興策が急務である。 ・小学校は人数が少なくなっても廃校にせず残してほしいです。
コミュニティ・つながり	・お年寄りがお宮や広場でスポーツや井戸端会議をにこやかにやってる地域 ・互いに声を掛け合える校区であってほしい。 ・人との絆 ・地域の繋がりは残っていて欲しい ・ご近所付き合い ・こどもと大人たちとのつながり、子供たちが集まる場所(勉強や話し合いできる環境)、大堰マルシェ ・身近な人(近所の人)達が集まってお茶を飲みながら話せる場所 ・誰でも挨拶が交わせる風土づくり ・この素晴らしい人とのつながりを残してほしい、子供たちの元気な声をたくさん聞きたい、美しい自然を残してほしい

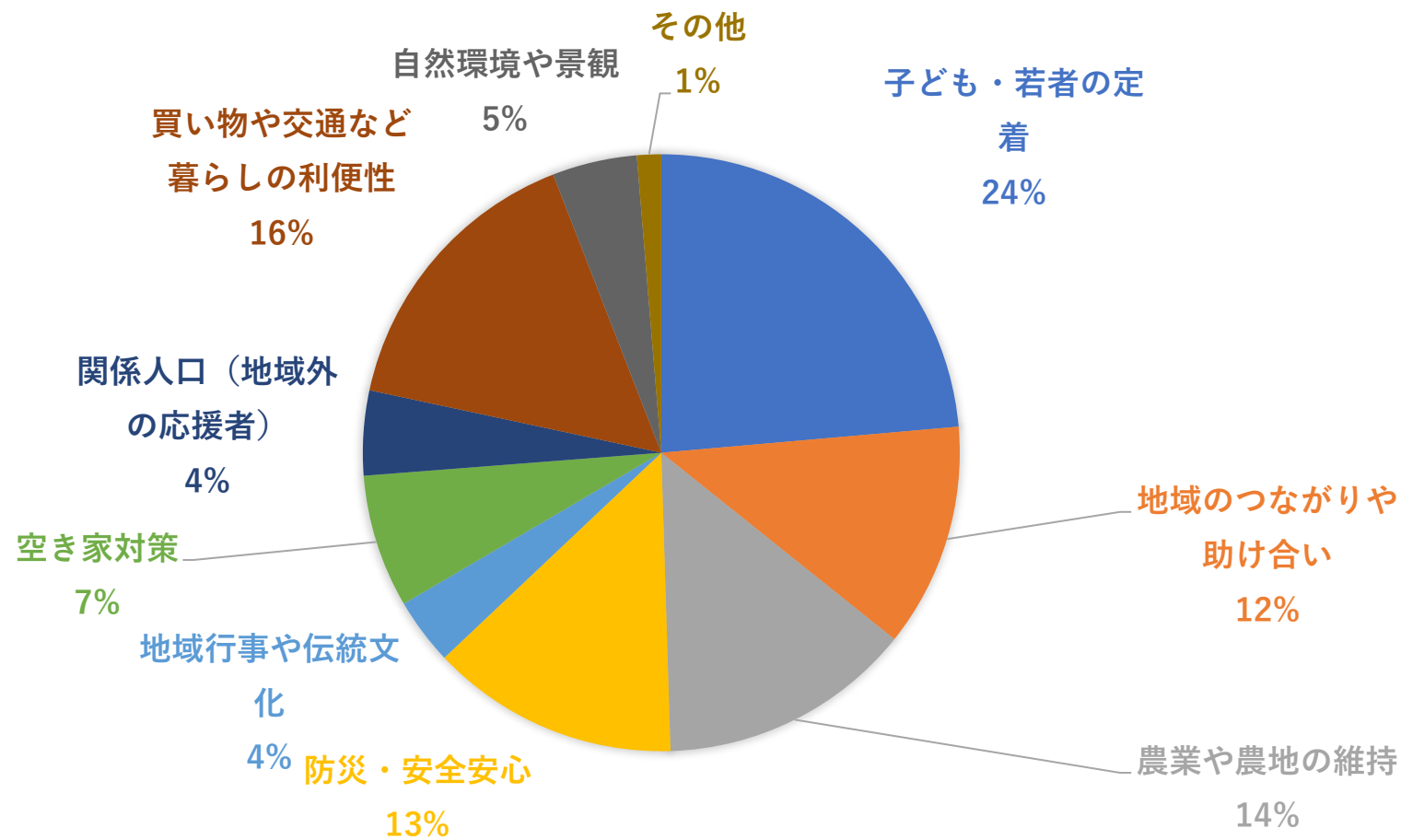
質問3：10年後の大堰校区について
10年後の大堰校区が、どのような地域であってほしいと思いますか。
大堰校区に残っていてほしいものや、大切にしたいこと、こんな地域であってほしいという思いがあれば自由にお聞かせください。
※思いつく範囲で構いません。文章ではなく単語でも構いません。

カテゴリ	理由や内容
自然環境 ・農業	・人とのつながりや農地や自然環境をどう守っていくか心配です。 ・野菜が沢山収穫できて、農業が賑わっている地域。 ・自然や、農業が変わらず盛んであって欲しい。 ・高齢化が進み人口が減っていくのであれば、農家体験型のリゾート、自然体験できるキャンプ場の開発なども考えて行く必要もあるかも。 ・豊かな農地と活発な農業。それに従事する方々も生き生きとしてほしい。(若い人も増えてほしい) ・自然は残っていてほしい。農業離れが進んでいるのは目に見えているものの、こちらからも農業が盛んであってほしい。菊池などの発展は目覚ましいですが、それにならうのではなく、これからものんびりした地域であり続けてほしい。工業化や集合住宅地化は全く望んでいません。 ・道の駅があり、自然をテーマに遊べる場所で色んな人が集まる場所 ・農業をしない人が増えて、町外からの作付けが増えて行くのでは！出来れば校区民の方々が農地の維持をして欲しい。この田園風景を守ってくれると嬉しい。 ・まずは農業偏重の考えをやめること。専業農家が少ない事を認識したうえで、若い人達が定着したくなるような方策を話し合うワークショップを開催する。 ・静かな住環境。虫の音で寝起きすることができる環境。 ・風景はそのままに人のにぎわいを取り戻してほしい
歴史・地域行事・文化	・いもめいげつさんを残して欲しい ・公園や水神祭などは残ると良いと思う。 ・江戸時代に建設された歴史歴偉業である「床島堰(広義)・床島用水」関連(28年洪水を含む)を広報・案内を行い、特に若い人に伝え郷土愛を育む。 ・地域行事の継続(大変だけど人とのつながりが無くなる) ・大堰神社、床島堰、大堰小学校が10年後も残っていてほしい。

質問3：10年後の大堰校区について
10年後の大堰校区が、どのような地域であってほしいと思いますか。
大堰校区に残っていてほしいものや、大切にしたいこと、こんな地域であってほしいという思いがあれば自由にお聞かせください。
※思いつく範囲で構いません。文章ではなく単語でも構いません。

カテゴリ	理由や内容
地域性	・今のままの大堰のよさが続いてくれるといいなと思います。 ・田舎の良いところをゆるやかに残して欲しい ・大堰校区に興味ある人を快く受け入れてほしい。 ・健康寿命を保ち、皆が好きな事をやったり趣味が合う人と繋がったり、温かい地域になってほしい。 ・農地、自然な環境を残しつつも活気あふれる人々がいるところ。 ・大人になっても住みたいと思う地域。水害の起きない地域。安心して農業が営める地域。 ・今の時代にあった田舎の在り方 ・現在もこの先も昔のようにあって欲しい。 ・緑豊かで、子どもも高齢者も日々の暮らしを楽しむスローライフ。 ・富多だけでなく、他の行政区でも若い人や子どもが増えていってほしい。農業や大堰ならではの地域行事・風習は残していけるような仕組みづくりをしてほしい。大堰校区（特に三川辺り）でも生活が完結するような仕組みがあるといいなと感じる。 ・今の景色を残しつつ、次の世代の人たちへの打ち出し方としては田舎や自然を気軽に楽しめる場所ぐらいの方がいいのかなと思う♪気軽に週末農業ができる土地があったり、キャンプができたり、朝や週末にウォーキングやランイベントをしたり、ヨガをしたり、気持ちいい景色をみながらお弁当を広げてリフレッシュできるような空間。あとは子どもたちが安心してのびのび駆け回れるような景色があったらいいなと思う。
その他	・医療施設増加 ・暮らしの利便性 ・電車がなくなるのはいらないでほしい ・10年後過疎が進んで無くていいなと思います。 ・10年なんてあっという間に過ぎてしまいます。今のところ 不自由なく過ごせているので このままでいいかなと思います ・氾濫しない川の対策！それのみです。 ・現状では陸の孤島では。空き家の老朽化、災害リスク。超高齢化と残る次世代の社会生活負担増加に伴う不平不満に依頼する更なる過疎化。 ・大雨の安心。スーパー等が来る。古いしきたり等をなくしてほしい。 ・地形、毎年夏には水害になやまされている。この状況では住みづらいので減る一方。昔から分かっている、対策取られていない。 ・大刀洗町のホームページにて大堰地区の過疎化を前向きに捉えてと言う「言葉」を拝見しましたが、具体策が見えず強い懸念を抱いております。現状維持の消極的な姿勢では、町の衰退を招きかねません。つきましては、持続可能なまちづくりの観点から以下の通り提案いたします。1. 温水プールを備えた複合アリーナの建設と避難所機能の強化 「うきはアリーナ」をモデルケースとし、大堰地区に温水プール併設型のアリーナを新設することを提案します。これにより、町民の健康増進を図るとともに、災害時には高機能な避難所としての活用が可能となります。また、現在各小学校に点在する老朽化したプールを集約・廃止することで、維持管理コストの適正化も図れると考えます。 2. 道の駅併設による「農・食」の拠点づくり 上記施設に「道の駅」を併設し、子供から高齢者までが参加できる農業体験や食育プログラムを実施してはいかがでしょうか。交流人口の拡大だけでなく、世代間交流による地域の活性化に繋がると確信しています。町政におかれましては、現状を打破する積極的なリーダーシップと、未来を見据えた明確なビジョンを打ち出すことを強く求めます。ぜひ、前向きな検討をお願いいたします。

質問 4：質問 3 で思い描いた地域に近づくために、特に重要だと思うことは何ですか。（3 つまで選択）



子ども・若者の定着	72
地域のつながりや助け合い	37
農業や農地の維持	42
防災・安全安心	41
地域行事や伝統文化	11
空き家対策	22
関係人口（地域外の応援者）	14
買い物や交通など暮らしの利便性	48
自然環境や景観	14
その他	4
回答数	305

※その他：「老後の安心、役所の相談機能の充実」
「その地区の古いしきたりをする為の当番制がある。断れない雰囲気と、断ったり、行けないと、年配の方達が文句を言ってくる。掃除等はわかるが、休み等も拘束され、ハラスメントの一つだと思う。」
「病院開設は、むずかしいのであればネットや何か体調の変化に対応してもらえる何かを考えて頂きたいです。」

質問5：これからの大堰校区について

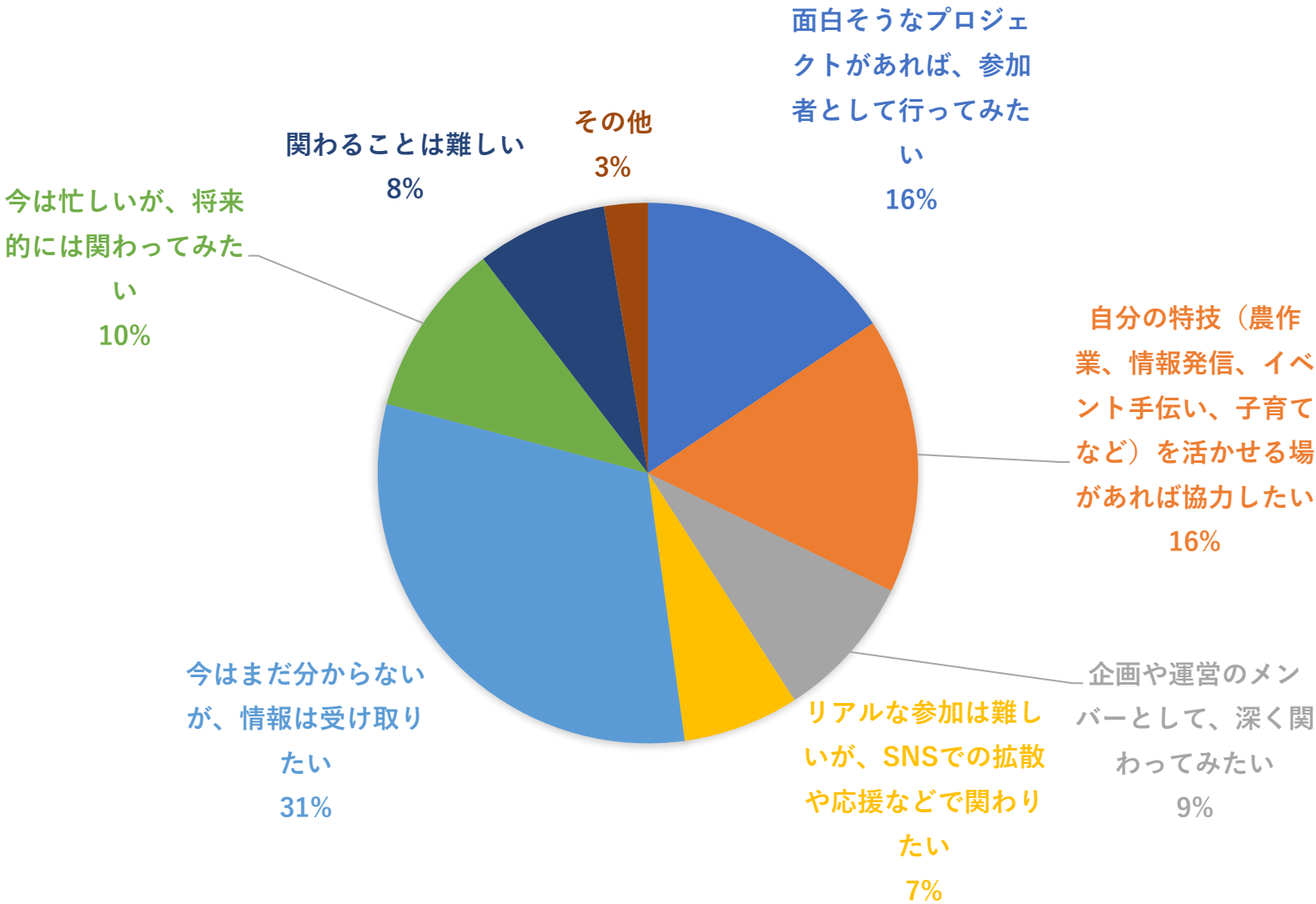
質問3で思い描いた地域に近づくために、「あったらいいな」と思う取組や活動、地域で実現できたら良いと思うことがあれば教えてください。また、ご自身が関わってみたいことがあれば、あわせてご記入ください。

カテゴリ	理由や内容
移住・定住、空き家	・1. 町による宅地造成で若い夫婦を呼びこみ人口増へ繋げる。2. 空家や耕作放棄地の活用。 ・住宅支援 ・アパートやマンションなどの若い世代の定住が必要。 ・水害が発生するかもしれない地域に新規転入は見込めないので、Uターンを増やしたり、他の旨味や方法を考えたほうがいいのではないかなと思う。 ・若い人が住みやすい環境 ・人口が増えるには、結婚、出産だと思います。また、子育て支援が手厚いと、外から移住する方も増えるのと思います。私はマッチングや、子育て支援に関わってみたいです。 ・空き家や使わない家があれば、それを住みたい人に売ったり貸したりする仕組みができればいいなと思います。 ・移住者、移民者の支援。 ・荒地の有効活用。 ・空屋等が多い為、リフォーム等し若者世代に格安で貸したり、子育て世代に手厚いサポートで、少しでも人口を増やして欲しい ・移住希望者募集、お見合いパーティー
子ども・教育	・大堰小学校PTAの復活！ ・子どもが安心して遊べる場所 ・校区外からでも小学校に行けるようにしてほしい
歴史・地域行事・文化	・いこいの園でやっていた夏まつり、楽しかったです ・色々な行事に参加皆んなと繋がりたい ・地域の人みんなで参加できるような行事を増やす ・いもめいげつさん、大堰神社のおくんち、田植え踊り、おさよのひとばしら ・夏祭りなど(駐車場問題はあります) ・校区ごとのお祭りに幅広い年代が参加できるような工夫があるとおもしろい。
農業・産業振興	・「ランチパスポート」…3ヶ月位の期間限定の冊子（500円～1000円）お店ごとに1種類載せる（お店の紹介をかねて）※以前住んでいた長崎であったもの。 ・働く場所、企業 ・吉井や浮羽を参考に道の駅を作ったら良いと思う ・高齢化が進み人口が減っていくのであれば、農家体験型のリゾート、自然体験できるキャンプ場の開発なども考えて行く必要もあるかも。 ・高齢化が進んで耕作放棄が多くなるので筑後川利用した企業誘致してほしいです ・地域特有の産物で強く集客、アピール販売出来る場所と促進策や交通事情を考えた道路整備が必要。 ・この景色をゆっくり楽しめるカフェ。無農薬、有機野菜など安全安心なお野菜直売所。 ・農業は後継者問題が課題となっており、定住を目的にすると難しいと思うので、地域外でも通勤のような農業ができると就農も少しは変わるのだろうか（農政関連詳しくなくてすみません）。「農業で食べていける」というロールモデルの発信が増えるといいと思う。 ・とこじませきに天然プール作るとか、キャンプ場作る、カブトムシ　クワガタが取れる環境にする ・行政積極介入による農業のあり方に関する介入

質問5：これからの大堰校区について
 質問3で思い描いた地域に近づくために、「あったらいいな」と思う取組や活動、地域で実現できたら良いと思うことがあれば教えてください。また、ご自身が関わってみたいことがあれば、あわせてご記入ください。

カテゴリ	理由や内容
コミュニティ・つながり	・大堰交流センターやMEGURU STATION を活用し、子どもから高齢者までが気軽に参加できる多世代交流イベントや、地域の実情（水害リスクなど）に合わせた実践的な防災シミュレーション活動ができればいいと思います。地域の行事（小学校の運動会や学習発表会など） のサポートや、資源ごみの分別・持ち込み などを通じて、無理のない範囲で地域のコミュニティ活動に継続して参加・協力していきたいです。 ・シニアの方の音楽活動。グループでの音楽レッスン。これだったら私もお手伝いできると思います。 ・大堰の地域の集まりや校区センター、公民館での活動など ・一つは、誰も孤立しないような仕組み。加えて、様々な世代が交流できるような取り組み。 ・地域ぐるみでお年寄りから若い世代へ野菜の育て方や土作りなどを一緒にやるような機会が定期的にあれば、家庭菜園からでも興味をもてるのかもと思ったりする。何から始めたらいいのかわからなかったり、疑問に思うことを尋ねることができる環境だったり関係性ができれば続けていけるかもしれない ・高校生が放課後に集まれる場所(勉強とか)、～小学校くらいまでは学校の活動も含めて地域の人と関わる機会も多いし積極性も高いが中高と進んでいくうちに校区外町外の学校に行くなどでその繋がりが薄まっていくのがもったいないと感じるためそこを巻き込めるような参加しやすいような活動があったら嬉しかった
安心・安全・公共交通	・消防団活動 ・各行政区(富田、菅野、西原等)にそれぞれ何本ずつか決めて街灯を増やす取り組み。どこに必要な各行政区でアンケートをとり希望の多かった所に街灯を設置 で夜の防犯にも繋がるかと ・昔ながらの移動販売や、今よりもっと活発な乗り合いバス、タクシーなどがあればいいと思います。 ・公共交通機関の充実 ・他の校区に比べてやはり不便であるのは間違いありません。日本全国的に高齢者の車の運転が問題になって久しいですが、車がないと生活が非常に難しいのは事実です。他の校区では出前館などデリバリーサービスも利用できますが、こちらは利用できないことが非常に多く、せめてデリバリーサービスの拡充があるだけでも違いはあると思います。 高齢者の危なっかしい運転を見かけるものの、ただ免許返納を促すことは難しい気もします。そのため、たとえば免許返納者にはデリバリーサービスや病院や駅まで送迎があると、離れて暮らす子供家族の安心も得ながら、返納もしやすくなるのではないかと思います。ひばり号があるのは存じておりますが、往復1000円となると、タクシー代で考えるとかなりお得ですが、自身で運転した方が圧倒的に支出を抑えられるため、普段使いするには少しハードルが高いように思えます。 資金をどう補うかは問題点としてありますが、免許返納後のサービス拡充によって、大堰校区に長く住んでも良いと思える一助にはなりえるかとは思います。 ・県、国を動かして安心して暮らせる環境整備に取り組むべきでは。 ・公共交通機関の充実。駅までのバス運行など重点的に ・災害に対しては、少しでも早く堤防を強化したり筑後川の川底の砂利を掘り、川自体の許容量を増やす等様々な案を出して、検討して欲しい。 ・安心して住み続けるための水害対策（河川改修）無理なら、水害時遊水池となる農地、それに付随する農作物や農地復旧に対する十分な補償。また、水害に強い住宅や施設への改修費用に対する補助金。 ・行政による地域介入して区長や隣組長の仕事軽減。
その他	・週末農業ができるみんなの畑のようなスペースがあるといいと思います♪ 対話のイベントとか、おじいちゃんおばあちゃんからお味噌づくりやDIYなど田舎ならではの知恵やノウハウを学べる場所があってもいいなあ^^ 都会から来た人たち、子どもたちがお年寄りと自然と交流するような空間があったら楽しそう。 ・大刀洗町のなかで大堰校区をどう言う立ち位置にしたいのかがよくわからないので何とも言えません。 ・地域の方との意見交換会は参加してみたい ・親子で通える健康促進でプールとジム ・大堰地区にはスーパーもコンビニもない。他の地区には最低1つはあるのに…。それさえあればと思う。 ・地域のクラブみたいな団体活動、バーみたいな気軽に寄れる飲み屋、町外に住んでいる子ども家族や知人が参加できるような伝統のお祭り ・プールや全天候型の子供が遊べる施設 ・女性が気兼ねなく意見を言える場所。移動図書館。子どもや老人が地域で学びやすい環境（公民館での学習・塾）。安平町みたいな学校や取り組み教育について ・大人食堂

質問 6：今後の大堰校区の未来づくりに関して、あなた自身の関わり方に最も近いものを選んでください。



面白そうなプロジェクトがあれば、参加者として行ってみたい	18
自分の特技（農作業、情報発信、イベント手伝い、子育てなど）を活かせる場があれば協力したい	19
企画や運営のメンバーとして、深く関わってみたい	10
リアルな参加は難しいが、SNSでの拡散や応援などで関わりたい	8
今はまだ分からないが、情報は受け取りたい	36
今は忙しいが、将来的には関わってみたい	12
関わることは難しい	9
その他	3

※その他：「本気の方向性が見えたら参加したい」「私個人としては、今後もオブザーバーとして地域に貢献し応援したいと考えております。しかしながら、地域の持続性を維持するためには、特定の個人に負担が偏る現状を改め、有能な若年層が正当な評価や対価を得て、職業として誇りを持って取り組める仕組みづくりが必要ではないでしょうか」